

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

おいしくて安全、安心な商品を消費者にお届けし、同時に地球環境に配慮した企業経営を目指す

連結売上高
43,000百万円

連結営業利益
1,700百万円

② 中長期の経営戦略

1. 製品開発強化

個食、中食、健康志向など多様化ニーズに対応した漬漬、キムチ、惣菜の新製品開発。独自の乳酸菌Pne-12を活用した新製品開発を進める

3. 販売先拡大

ドラッグストアや量販店の豆腐売場、納豆売場など新たな売場への注力

2. 販売エリア拡大

西日本エリア（近畿、中国・四国、九州）でのシェア拡大。各工場の供給力を活かした販売強化

4. 新規事業の確立

外食・小売事業、農業事業、さつまいも活用商品開発・輸出、冷凍食品開発に取り組む

③ 対処すべき課題

① 売上拡大への対応

- ・ 全国の製造・販売拠点活用による営業強化、西日本エリアでの新規取引先開拓
- ・ 高付加価値製品や新カテゴリー製品の開発によるブランド力向上

② コスト削減・利益確保

- ・ 原料野菜調達方法の見直し、省力化機械導入による生産体制効率化
- ・ 2024年12月稼働の茨城工場での効率的製造
- ・ 製品規格見直しや値上げ（2025年5月からご飯がススムキムチ値上げ）による利益確保

③ 食の安全・安心確保

- ・ JFS-Bを活用した品質管理レベル向上
- ・ フードディフェンス強化による意図的異物混入防止

面接で使えるポイント

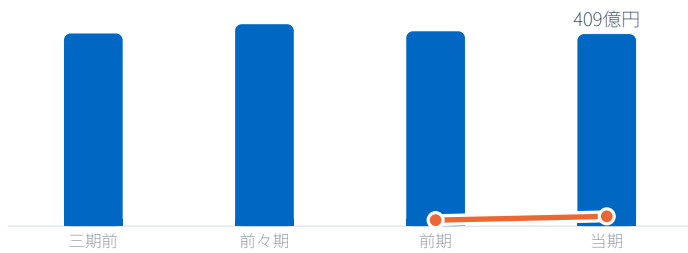
- ・ 漬物・キムチ・惣菜の3事業で全国網羅する生産体制を持ち、2028年度に売上43,000百万円を目指す
- ・ 独自の乳酸菌Pne-12を活用した製品開発と、西日本エリアでのシェア拡大に積極投資
- ・ 健康経営優良法人2025取得、JFS-B取得など安全・安心と従業員福祉を重視する企業姿勢

株式会社ピクルスホールディングス

食料品 | プライム（内国株式） | 決算期 2月末日 | 連結…

証券コード 2935

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

2022年9月に株式会社ピクルスコーポレーションの持株会社として設立された食品

主力事業・セグメント

- ・食料品（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
409億円

営業利益率
5.1%

財務健康度
41点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 49.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
-（未開示）

平均年齢
-（未開示）

平均勤続
-（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: エフエムアール エルエルシー(FMR LLC)が株式会社ピッ

株式会社ピクルスホールディングス 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

